

映画研究部

映画鑑賞

レポート

平成 28 年度

3 月分

鑑賞レポート 一覧

- 20836 「塔の上のラプンツェル」
- 10320 「一週間フレンズ」
- 10639 「羊たちの沈黙」
- 10738 「一週間フレンズ」
- 10741 「永遠の0」
- 10802 「塔の上のラプンツェル」
- 10831 「ナルニア国物語 第3章：アスラン王と魔法の島」

映画名「塔の上のラプンツェル」

評価 10/10

ストーリー

“髪長姫”の呼称で知られるグリム童話のヒロイン、ラプンツェルを主人公に、自由自在に操れる驚くほど長い彼女の“魔法の髪”に秘められた謎と旅を描くアドベンチャー・アニメーション。「ボルト」のバイロン・ハワードとネイサン・グレノが共同で監督を務め、未知なる世界に挑むラプンツェルの冒険をダイナミックなアクションと共に描き出す。

グリム童話から生まれ、世界のアニメ界を代表するディズニーが手がけたミステリアスなストーリー。

鑑賞レポート

私はディズニープリンセスが好きなのですが、その中でも1番この映画「塔の上のラプンツェル」が好きです。理由は、まず絵がとても可愛いところです。他のディズニープリンセスとは全然違う、お人形のような絵がとても好きです。

他には、キャラクターがとても個性的でおもしろい所です。主人公のラプンツェルは好奇心旺盛の少女で、おちゃめな一面もあり、とても面白いです。

また、フリン・ライダーと馬のマキシマスは仲が悪いようで、実は気が合う仲の良い2人っていうところもおもしろいなと思いました。この2人の言い争いのシーンがかわいらしくて、私はとても好きです。またこの映画で流れる歌がどれもとてもいい歌で、私はとても好きです。明るい曲が多くて、そこがまた良いなと思いました。この映画は他のプリンセスにはないような事がたくさんあります。まず、ぶっちゃけロマンチックなシーンはあまりありません(笑)。でもハラハラドキドキといったシーンがたくさんあり、冒険物語のような感じです。私は他のプリンセスとは違う話の感じがとても気に入りました。本当にこの物語と歌が好きです。見たことがないという人には絶対1回は見て欲しいです。

## 鑑賞レポート 10320

映画名「一週間フレンズ」

評価 10/10

ストーリー（ネタバレあり）

高校生の長谷祐樹（山崎賢人）は、いつもクラスで1人である藤宮香織（川口春奈）と仲良くしたいと思い、彼女に「僕と友達になって下さい」と言うが、彼女は「無視」としか言わない。実は彼女には友達を作ることができないある理由があった。

鑑賞レポート（ネタバレあり）

この作品の予告を映画館で見た時、続きが気になって仕方なくて、この映画を見ました。この作品は、一週間で記憶をなくしてしまう少女・香織と彼女と仲良くなりたい少年・祐樹の物語です。この作品の中で、香織と祐樹が交換ノートをするシーンがあるのですが、最初は祐樹が一方的に書いていただけだったのに、香織がだんだん祐樹に対して心を開き始め、2人の交換ノートがスタートしていき、2人が仲良くなっていくところがとてもいいと思いました。

なぜ一週間で記憶がリセットされるのか。なぜ月曜日の朝、目が覚めたら記憶がなくなってしまうのか。その理由は香織の中学校の時の忘れたい記憶（友人関係のトラブル）が原因だと知った時、その記憶があまりにもつらすぎて、胸が苦しくなりました。でも祐樹や高校での友達のおかげで、中学校の頃の出来事は解決され、とてもよかったなと思いました。最後の卒業式のシーンで香織は忘れてしまっていた祐樹との思い出を思い出し、祐樹の大切さに気づくシーンはとても感動的でした。

今月の鑑賞映画報告

一週間フレンズ

評価 5/5

最後がとても感動的で良かったです。

## 鑑賞レポート 10639

映画名「羊たちの沈黙」

評価 10/10

### ストーリー

若い女性を殺害し、その皮を剥ぐという猟奇事件が続発。捜査に行き詰まった **FBI** は、元精神科医の殺人鬼ハンニバル・レクターに示唆を受けようとする。訓練生ながらその任に選ばれたクラリスは獄中のレクターに接触する。レクターはクラリスが自分の過去を話すという条件付きで、事件究明に協力するが…。

Yahoo! 映画 引用

### 鑑賞レポート

私自身、映画に関する知見は広くはないが、恐らくサイコ・スリラー映画でこの作品の右に出るものはないのではないかと錯覚するほどの完成度だった。素晴らしいのはスプラッターや、グロテスクなどの映像的な要素に頼らずとも観る者に「恐ろしい」とか「怖い」といった負の感情を湧かせている点にある。確かに、人体がめちゃくちゃになったり、血が出たりするのを観るのは、恐らくそれを楽しめるのも映画の魅力の一つではあるが、それは表面的な浅い恐怖にすぎない。それに対して「羊たちの沈黙」における「恐怖」とは、人間の内面に潜在する凶暴性といったような本質的なものである。それらは極めて視覚化させにくく、受取手にも伝えにくいものだが、それを恐怖として確立させているのに成功している数少ない映画なのだ。

また、懸命に犯人を追い続けるクラリスを演じるジュディ・フォスターと、そんな彼女を掌握し、弄び続ける殺人鬼レクターを演じるアンソニー・ホプキンスの掛け合いには息を呑む。更に、その2人の関係性を暗示するかの様な独特なカメラワークも秀逸を極めている。

とにかく、ホラー映画に求められるものの多くが凝縮された作品なので、一度は観ておきたい作品。

### 今月の鑑賞映画報告

パディントン 評価 5 / 5

絵本が原作

ロード・オブ・ザ・リング 評価 4 / 5

3時間程あったので、疲れた

ロード・オブ・ザ・リング 二つの塔 評価 4 / 5

## 鑑賞レポート 10738

映画名「一週間フレンズ」

評価 8/10

ストーリー（ネタバレあり）

高校1年生の長谷祐樹（山崎賢人）は、図書館でクラスメイトの藤宮香織（川口春菜）と出会い、いつも一人である彼女と友達になろうとする。しかし彼女はそれを拒む。その理由は「1週間で友達との記憶を無くしてしまう」から。それを知った祐樹はそれでもひたむきに香織と友達になろうとする。果たして、祐樹は香織と友達になることができるのだろうか。そして、彼女が「1週間で友達との記憶を無くしてしまう」理由とは…。

鑑賞レポート（ネタバレあり）

私は、この映画を友達に誘われて見に行きました。なので、全く話の内容を知りませんでした。ただ見てみるとストーリーも分かりやすかったし、面白い場面や感動する場面もあって、2時間の映画だったけどすごく見やすかったです。この映画をみて、長谷祐樹（山崎賢人）はすごいと思いました。なぜなら藤宮香織（川口春菜）が「1週間で友達との記憶をなくしてしまう」と知っても何度も「僕と友達になって下さい。」と言いつけている姿や、彼女と友達になるために色々な方法を考えて彼女と交換ノートをしたり、すごく彼女のことを思っているのに、彼女に他の男の人が現れると自分は身を引いたりする場面にすごく感動しました。

今月の鑑賞映画報告

ちはやふる（上の句） 評価 5 / 5

競技かるたの面白さがわかった。

ちはやふる（下の句） 評価 5 / 5

絆の大切さがわかった。

## 鑑賞レポート 10741

映画名「永遠の0」

評価 9/10

ストーリー（ネタバレあり）

佐伯健太郎（三浦春馬）とその姉の慶子は、祖父から彼が自分たちの本当の祖父ではないことを、祖母が亡くなってから聞かされる。それから気になった佐伯健太郎が姉とともに本当の祖父について調べ始める。本当の祖父の名前が宮部久蔵（岡田准一）ということを知り、関係者何人かに話を聞く。そして宮部久蔵がどんな人だったかを聞いていくうちに、「航空隊員として軽蔑されていた」などと言われていたが、本当は全く違った。話して、第二次世界大戦の中生きていた宮部久蔵は本当はどんな人でどういう人生を生きてきたのか。

鑑賞レポート（ネタバレあり）

私は母が見たいと言って、録画機に入っていたので、一緒に見ました。この映画を見た人からとても感動したという感想が多かったので、楽しみにしていました。戦争と関係があって、とても現実になりそうな話だったので、感動して少しだけ泣いてしまいました。

一番感動したところは、宮部久蔵（岡田准一）がお国のために自分の命を捧げるのが当然という日本の中、「オレは絶対に死なない、娘に会うまでは。」と言い、周りの人みんなに“卑怯者”や“裏切者”とどれだけ言われても、自分のこの気持ちを一回も変えず、第二次世界大戦中にたった一回でも会えたところでした。

私はこの映画を見て、あらためて戦争の大切さやこれに関わっている人達の悲しさや苦しさを感じました。この映画はとても良かったので、より多くの人に見てもらいたいです。

映画名「塔の上のラプンツェル」

評価 9/10

ストーリー（ネタバレあり）

ある王国の森の奥深くにそびえる高い塔にラプンツェルという少女が暮らしていた。ラプンツェルは18年間育ての親であるマザー・ゴートルから塔の外に出ることを禁じられていた。それでも彼女は自分の誕生日の夜に遠くの空に現れる無数の灯りを不思議に思い、外の世界への憧れを強くしていた。19歳の誕生日を控えたラプンツェルは思い切って「今年こそ街の灯りを見に行きたい」ゴートルに伝えるが、例の如くに「外は危ないから」と説き伏せられてしまう。

鑑賞レポート（ネタバレあり）

この映画を見て私が思ったのは、ギャグに面白いものが多かったです。例えばフリン・ライダーことユージーン・ふいつつばーバードらがティアラを盗み逃走している間、追っていた警護隊長達よりも馬ことマキシマスMaximusの知性がとても高く、その度々の活躍が面白かったです。またユージーンがとうに入った時のラプンツェルの対応も面白かったです。頑張っ頑張ってダンスに入れようとする度に足がはみ出たりして痛い目にあうユージーンは見ていて少し同情しました。特に酒場の人達の夢と見た目のギャップも良かったです。あとユージーンの時でもありましたが、フライパンの性能の高さにはびっくりしました。私が感動したのはユージーンについてです。最後にティアラよりもとても価値がある髪の毛をばっさりと切って、ラプンツェルの命を救った所がとても良かったと思いました。最近あまりディズニーを見ていなかったのも、こういった分かり易いストーリーも良いなと感じました。

今月の鑑賞映画報告

塔の上のラプンツェル

評価 4/5

良かった！



## 鑑賞レポート 10831

映画名「ナルニア国物語 第3章：アスラン王と魔法の島」

評価 9/10

ストーリー（ネタバレあり）

戦争の影響でいとこの家にあずけられているルーシーとエドモンド。エドモンドは兄・ピーターや大人などに憧れ、ルーシーは姉・スーザンの美しさに憧れている。そしてナルニアにまた行きたいという願望を2人で話していると、いとこのユースチスがやってきて、2人を馬鹿にする。すると、美しい海の絵から水があふれてきて、3人はナルニアに。

鑑賞レポート（ネタバレあり）

前作、前前作とは違って、兄・ピーター（ウィリアム・モーズリー）、姉・スーザン（アナ・ポップルウェル）がいないから、少しものたりない気もしましたが、大人っぽくなったルーシー（ジョジー・ヘイリー）とエドモンド（スキャンダー・ケインズ）が活躍する姿はカッコよかったです。そして前作から登場したカスピアン王（ベン・バーンズ）も再び登場します。今回の作品中に『自分の欲望に負けると目的は達成できない』と言われていて、最初にルーシーが欲に負けそうになるけれどアスランが助けてくれて、次にユースチス（ウィル・ポールター）が欲に負けてしまいドラゴンになりますが、彼は後々に役に立っていきます。次にエドモンドとカスピアン王が欲に負けそうになりますが、ルーシーによって止められます。後にエドモンドはまた欲に負けそうになりますが、自分で打ち勝ちます。今作は皆の一步前進が見られる作品になっていて、またいい作品になっていました。ナルニア国物語は第1章も第2章も大変面白いので、ぜひ見て欲しいです。

今月の鑑賞映画報告

リアル鬼ごっこ 2015

評価 2/5

展開がよくわかりませんでした。

奴隷区 僕と 23 人の奴隷

評価 2/5

面白かったけど、よくわかりませんでした。

ナルニア国物語 第3章：アスラン王と魔法の島

評価 5/5

おもしろかったです。